



NEWS LETTER

新年号

発行:2021年1月16日

株式会社 MIS
〒800-0237
北九州市小倉南区中貫2-7-15
TEL093-471-1584

■ご挨拶

新年明けましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染症で先生方、スタッフの皆さん、大変ご苦労されたかと思えます。昨年12月に入り状況は益々悪化し、年末年始は移動の自粛となり、家族の帰省や孫たちとも一緒に過ごす事ができず、寂しいお正月を迎えた方も多いのではないのでしょうか
そして新年早々、またこのコロナウイルスとの戦いが始まります。そしてついに緊急事態宣言が発令されました。私どもは、先生方にITでのご支援をするしかありませんが、より安全でより効率の良いご提案をとことん知恵を絞って取り組んでいきたいと考えています。本年もどうぞよろしく願います。 MIS 代表 清水裕士

■キャッシュレス時代の到来

既に多くのクリニックさんが導入

新型コロナウイルスの感染拡大により、現金の取扱いが問題視されました。そこで自動精算機の需要が高まったのですが、導入コストが高額になると患者さんの操作への手助けが必要になることが多いため浸透せずにいます。そこでキャッシュレスなのですが・・・

ほとんどがPayPayのみ

営業活動が、ずば抜けていたPayPayは、導入費や手数料が比較的安いと多く医療機関が導入しました。しかし利用者はPayPayだけしか使えないので利用率はほんのわずかのようです。

ついに多彩な決済方法に対応したサービスが出ました

クレジットカード、交通系やIDなどの電子マネー、QRコード決済など、ほとんどのキャッシュレスに対応できるチョコペイと言うサービスが開始されました。

しかも医療機関専用なので手数料が安い！

医療機関専用の特別なサービスとして業界最低水準の手数料率を実現しています。
※なお、各種決済方法で料率が違います。詳細は別紙チラシをご覧ください。

導入も簡単

ID登録して情報入力、端末が送付されます。Wi-Fi接続ですぐに利用可能です。もちろん当社でお手伝いできます。

※詳細はチラシを同封しています。

非接触
で安心

■コンピュータチェックについて

先月「社会保険診療報酬支払基金におけるコンピュータチェックの試行的公開について」と言うタイトルで各地区医師会より福岡県医師会長発行の通知がFAX等で各医療機関に送信されたかと思えます。その件で質問が多く寄せられたので具体的にどのような内容でどう対応したら良いかをご案内いたします。

①コンピュータチェックの試行的公開とは

支払基金における業務効率化・高度化に向けた改革の取組の一つとして、コンピュータチェックについて、審査の透明性の更なる向上、保険医療機関等の適正な請求レセプトの促進等及び保険者等における事務処理の効率化につなげるため、平成30年3月に公開基準を策定し、順次公開を進めています。

②通知文章に対してどうしたら良いか

結論から言うと特に何もすることはないです。通知文章の中に「ダウンロードしてレセコンにチェックソフトを取り込み」と言う表現がありますが、ダウンロードできるのは事例データのみでソフトはダウンロードできません。

③どう対応できるか

レセプト点検用ソフトのデータベースは、元々そのメーカーのノウハウではありますが、今回の試行的公開による事例データも当然取り込んでいます。従ってレセプト点検用ソフトを導入いただいているユーザ様は、本当に何もしなくても良いわけです。未だ導入していないユーザ様はこれから導入をされることをお勧めします。※MightyCheckerがお勧めです。

■クラウドサービスの実態

「クラウドは停止する」が常識？

前号では、クラウドは「使えなくなることがある」と説明しました。もちろん従来のオンプレミス型も故障することがありますが、クラウドサービスの場合ほど頻繁ではありません。では、極力「停止」を避けるためにはどうしたらよいか？
まずは、サービス提供者（電子カルテならばメーカー）の正しい選択をすることが重要です。以下2点の確認をしましょう。

①利用料での判断

あまりに安い場合は、要注意です。採用しているデータセンター自体が脆弱であったり、サービスレベルが低かったりする可能性があります。

②サービス提供者の利用規約を確認する。

停止の場合の対策や補償について十分であるか確認をしておくことが大切です。また、余談ですが、情報漏洩の責任はそのサービスを採用した側（医療機関）に全てありますので安易に導入しないようにしましょう。
上記2点に問題なければ、あとは信頼できるメーカーかどうか機能面や拡張性など満足できるかなどとなります。クラウドサービスの正しい選択をまずはしてからです。

※次号へ続く

■オンライン資格確認最新情報

昨年、補助金が上限額まで全額補助となりましたが、その条件として3月31日までに顔認証カードリーダーの申し込みが必要です。既に多くの先生方が申し込みを終えているようですが、されていない方は、とりえず申し込みをされてはいいかがでしょうか？なお、申し込みは診療報酬支払基金の「医療機関等向けポータルサイト」から申し込みができます。その際にメールアドレスが必要です。それからカードリーダーは数種類ありますが、「アルメックス」をご指定ください。ORCAユーザ様においては多くのメリットが準備されていますので（ORCA管理機構推奨）前置きが長くなりましたが、最新情報としては・・・

1. 日レセ側の画面等の設計案がサポート事業所に通知されました。
2. アルメックス社の保険証・公費受給者証等の読み取り精度を上げるため、地域の公費受給者証の様式を、全国的サポート事業書に募集を開始しました。

※最新情報は、当社ホームページの特設サイトで



https://www.mis-net.biz/onlinesikaku_200930.html

資料請求及びご意見ご要望は、別紙FAX用紙をご利用ください

お急ぎの場合は・・・24時間365日受付電話 090-4348-1461 清水まで